



Chartered April 11.1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Seiji Igarashi 〒659-0014 6-16-402 Midorigaoka Ashiya .JAPAN
 Mail : PX100151@nifty.com Tel 0797-22-7852
 URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

国際協会会長 ウィチャン・ブーンマパジョン(タイ)
 「信念あるミッション(使命・目標)」 "Mission with Faith"
 アジア地域会長 エドワード K.W. オング(シンガポール)
 「愛をもって奉仕しよう」 "Through Love, Serve"
 西日本区理事 遠藤通寛(大阪泉北)
 「あなたならできる! きっとできる」
 "You can do it! Yes, you can"
 六甲部部长 進藤啓介(神戸クラブ)
 「-YMCAと共に- 次世代を育み、地域に仕える」
 芦屋クラブ会長 五十嵐政二
 「絆を太く、強く」

会 長 五十嵐政二
 直前会長 福原吉孝
 副 会 長 上野恭男・堤 清
 書 記 柏原佳子・上野恭男
 会 計 羽太英樹
 監 事 田舎庸男
 連絡主事 藤田良祐
 六甲部交流担当主査 福原吉孝

10
 Oct. 2015
 221号

BF資金は国際交流への貢献

ファンド委員 桑野友子

西日本区に於いてファンド事業と交流事業が統合されて国際交流事業となったのは2014年度からです。

20年前にワイズメンズクラブに入会したとき、数ある英和対照略語の中で最初に覚えたのがBFでした。と言ってもBrother food Fund(兄弟分基金・資金)が何に使われるのかも理解しないまま、使用済み切手を集めて資金にする、Cashを集めて基金にするべく頑張ったものです。

後にBF Delegationとして代表者が他地域や国を訪れる時の資金に充てられるのだと知り、BF事業は資金集め、その資金で国際交流をする、今回の統合は「入りと出」が一つの事業になったのだと妙に納得しました。

毎年2月にメンバーから集めて西日本区に送金される各種ファンドにはBF基金も含まれており、これは国際交流の資金として立派に役立っているのですが、私たちはBFに限らず公のお金の使い道にとっても無頓着なようです。ワイズメンズクラブのメンバーとして、国際に渡った資金がどのように使われているのか? 少し関心を持つのも大切です。

ところで、芦屋クラブでは私も含めてほとんどのメンバーがBFといえばファンド、ファンドといえばニコニコファンド、じゃがいもファンドに結びつきあり、これらの資金が年会費と共に芦屋クラブの活動に大きく貢献しています。毎月のニコニコや秋のじゃがいもファンド、皆様のご協力有難うございます。

今月の聖句

主はこう言われる。見よ、わたしはお前たちの前に命の道と死の道を置く。 <エレミヤ書 21:8 >

10月第1例会プログラム

と き: 2015年10月21日(水) 19:00~21:00
 ところ: ホテル竹園芦屋 (敬称略)
 司会: 権 甲植ワイズ
 受付: 羽太英樹・坂東幸子ワイズ
 準備: 篠坂幸彦・柏原佳子ワイズ

- | | |
|------------------|------------|
| 1. 開会点鐘 | 五十嵐政二会長 |
| 2. クラブソング斉唱 | 一同 |
| 3. 聖書朗読 | 羽太英樹ワイズ |
| 4. ゲスト・ビジター紹介 | 権 甲植ワイズ |
| 5. 食前感謝 | 都筑省三ワイズ |
| 6. 会食・懇談 | |
| 7. ゲストスピーチ | 李重載(이중재)牧師 |
| 「韓国の教会」 | |
| 8. 1) 第2例会議事録の承認 | 五十嵐政二会長 |
| 2) 各事業委員の報告 | 各事業委員 |
| 9. YMCA報告 | 藤田良祐連絡主事 |
| 10. ニコニコ献金報告 | 島田 恒ワイズ |
| 11. 誕生日祝い | 五十嵐政二会長 |
| 五十嵐ワイズ・田舎ワイズ | |
| 12. 閉会点鐘 | 五十嵐政二会長 |

9月例会出席表

第1例会出席者		例会出席率		BF切手
メンバー	12名	出席者	12名	累計 gm
ビジター	2名	メイクアップ	1名	
ゲスト	2名	合計	13名	
メネット	4名	在籍者	17名	ニコニコ
コメット	名	(内広義会員1名)		9月 27,093円
合計	20名	出席率	81.2%	累計 42,235円

9月第1例会報告

日時：2015年9月16日(水)19:00～21:00

場所：ホテル竹園 (敬称略)

出席者：五十嵐会長、上野恭男、柏原佳子、桑野友子
権甲植、篠坂幸彦、島田 恒、都筑省三、羽太英樹
坂東幸子、福原吉孝(各メン)、五十嵐かほる、大澤昌
子、羽太光子、福原美鈴(各メネット)、藤田良祐連絡
主事

ゲストスピーカー：神戸YMCA総主事井上真二

ビジター：六甲部部長進藤啓介、六甲部会計城純一

ゲスト：北村正紀

9月に入り、秋を感じさせる季節になりました。今月はメネット月間であり、定刻、五十嵐かほるメネットの開会点鐘で例会が始まりました。クラブソング、羽太ワイズによる聖書朗読に続き、今月のメインゲスト・ビジターの紹介、大澤メネットへみどり福祉作業所支援金の贈呈、藤田良祐連絡主事へYMCAリーダー研修協力金が五十嵐政二会長より贈呈がありました。

楽しい食事の後、進藤啓介六甲部部長より、「YMCAと共に一次世代を育み、地域に仕える」との力強いお話を伺いました。



いよいよ、ゲストスピーチ 井上真二神戸YMCA総主事より、パワーポイントを使って自己紹介から始め、神戸YMCAの歩み、ファミリーウエルネスセンターのオープン、三宮会館、中期計画、神戸YMCAのこれからについて分かりやすくお話をいただきました。幼い時より、学校だけでなく社会教育の場で育っていくことの大事さを改めて感じました。

続いてゲストの皆様・メネットの皆様にお話していただきました。最後に五十嵐かほるメネットの開会点鐘、あつと言う間の楽しい9月メネット月間の例会が終わりました。初めての司会ドキドキしながら終わりの時を迎え、ほっと致しました。ありがとうございました。 羽太光子

神戸ポートクラブ例会

(春風みつこ腹話術公演)

六甲部部会の席で、神戸ポートクラブ9月例会に羽太光子メネットが「腹話術」を公演されることを耳にしました。春風みつこさんは西日本区メネットアワーや芦屋クラブのメネット例会、また地域奉仕として毎週1回、福祉施設でもボランティア活動をされています。ポートクラブは現在、YMCA建設中の為、例会場に苦勞されていて申し込んだ段階では人数制限がありましたが、突然、メンバーの出席がおもわしくなく20名以上は集めたいとSOSが入りました。例会にゲストを招けば人数が少ないと残念なのはいずれも同様です。



久しぶりに会うエコちゃんは、お母さんとお揃いのチェックのシャツとサスペンダー姿で両親の愛情をたっぷり受けているやんちゃ盛りの5歳の男子、表情が以前よりももっと生きいきとしています。演目は「ご近所付き合い」という身近なテーマでお隣の猫から

金魚を守る親子のやり取りのあまりの可愛らしさに会場に笑いが広がります。落ちは「キンギョ迷惑」 例会では当日、欠席されたメンバーの事情が説明されこれは芦屋クラブにも取り入れたいと思いました。なんだかほっこりと暖かな気持ちに包まれて電車に座りクラブの絆を感じるのもアツという間、窓越しに手を振ってお別れしました。後日、ポートクラブより光子メネットが公演御礼金をニコニコ献金されたことへのお礼メールがとどきました。参加者：(五十嵐会長夫妻、羽太英樹夫妻、桑野、柏原6名) 柏原佳子

三宮にお買い物

芦屋みどり福祉会 大澤昌子

ワイズメンズクラブの皆様、いつも社会福祉法人芦屋みどり福祉会の活動に温かいご支援をいただき、ありがとうございます。きょうは日々の生活の一部をご紹介します。

私は芦屋みどり作業所の自立訓練というサービスの担当をしています。

利用者の方が洗濯、料理、買い物、手紙を書くなどのプログラムを通し、生活力・社会性を身につけ、より豊かに暮らしていただけるよう、日々いろいろ考え支援をしています。先日メンバーさん達と三宮に買い物に出かけました。自分で交通費、昼食代、欲しいものを買うお金等、予算を立て、財布に持っているお金を計画的に上手に使う事を体験していただきました。阪急バス、阪神電車を乗り継ぎ、三宮のセンター街やL

OFTのお店に行きました。思ったより何でも高くて小遣いを増やすために昼食はマクドナルドに行きたい。ブックオフでCDやコミック本などを安く買いたい。ダイソーの100円ショップにも行きたい。みんなの意見を聞きながら買い物をしました。最後にLOFTのちょっと高いけど、キャラクター商品や雑貨など目的のものを買って大満足でした。ほとんど食べるものにお金を使う人、計画的にお金を使いおつりが2円だった人、帰りの電車がなくなってしまい買ったものを返品した人、念願のAKB48のCDが買っていい笑顔を見せてくれた人、それぞれ一生懸命考えて個性あふれる買い物を楽しみました。帰ってから一緒におつりを計算してこの日のプログラムは終了でした。みんなの感想はとても良く、小遣いをためてまた行きたいとの事でした。これからも楽しみながら生活力を高めるためのプログラムを企画していきたいと思っています。



六甲部部会開催さる

第14回六甲部部会が9月5日(土)15時から北野プラザ六甲荘で開催されました。

芦屋クラブからの参加者は五十嵐会長、五十嵐かほるメネット、上野恭男、柏原佳子、桑野友子、羽太英樹、島田恒の7名でした。

部会の直前にメネット会が同ホテルで開催され、休憩を挟んでの開催でした。参加者は名簿によれば131

名と上々の出席者数です。

進藤啓介部長の挨拶、開会点鐘があり、型通りの挨拶が続き1部を終了。2部はYMCA 同盟の中道基夫中期計画委員会副委員長による「YMCAブランドの再生～オールジャパンYMCAの革新を～」と題する研修会です。

中道基夫氏の説得力のある語り口に聴衆が引き込まれて、あっという間の1時間でした。なるほど、YMCAはこれからの若者にむけて新しいYMCAの姿を発信していかなければ、YMCAのブランドはかつてのVANジャケットのように消え去っていくのだ、と強く思いました。



いいお話しのと、やっと思親会です。冒頭に中村建・徹父子のピアノ連弾

の演奏がありました。高機能自閉症の中村徹君は作曲もしており、チャイコフスキー、ドビュッシー、などクラシック曲を6曲演奏し我々に感銘を与えました。

懇親会は遠藤通寛理事、井上真二神戸YMCA 総主事をはじめ参加者は、ヤーヤーと顔なじみとの交流を楽しみ、19時30分お開きとなりました。

上野恭男

メネットアワー

部会に先だってメネットアワーが開催されました。

メネット事業主任遠藤典子さんの爽やかな御挨拶のあとポートクラブの大野勉さんは、お得意の「走れること」に感謝していると東北の方々と心を繋いでいられる事を語られ、三田クラブの安行メネットは震災後4年を経た2月、ハンドベルを

持って東北をたずねて、見た事を伝えてくださいました。ゆりあげ地区の小高い丘から見たら、何もなかった、土地がひろがっているだけ、家も車も人の命も根こそぎ持っていかれたのだと実感。ぽつんと残った保育園の園舎のまわりは何もない。園児たちの楽しいお散歩は常に避難訓練なのだ、現在も続く惨状を語られました。また、丹波どろんこキャンプに招いた子供達の「ここは触ってもいいの？ これに触れても良い

の？」という言葉。私たちの支援の在り方を考えさせられると結ばれました。そして山崎知行氏(日本キリスト教団大阪教区核問題特別委員)は「福島原発事故の健康相談に関わって」という現場での調査結果等を数値を示して説明してくださいました。現在は避難指示が解除されている地区で普通に生活している人びとは常にレントゲン室の中で生活しているにひとしい。道端の草や苔に高レベルの放射能が残っていたりする。チェルノブイリの人々はドイツの北の林に作られた保養所に年2回3週間の保養に行く。約2～3割の被爆線量の減少がみられる。日本も国をあげてそのような対策を考えなければならない。



(詳しくは書ききれないお話でした。福島のホームページをくらんでください) 五十嵐かほる

“ワイズの輪”原稿を依頼されました

突然、DBCもりおかクラブの長岡ワイズから“ワイズの輪”へのバトンが舞いおりました。“ワイズの輪”はびわこ部蒲生野クラブのプリテンが創められたリレーエッセイです。蒲生野クラブは元京滋部で、24～5年前に夫婦共にメンバーというセンセーショナルなクラブとして誕生されました。

このリレーエッセイは今回で292回を数えるそうです。これまでに登場されたワイズのみなさまの記録と依頼文に添えられて、23回目に書いた故柏原の原稿が送られてきました。このきめ細かな優しさが長く受け継がれてきた理由でしょうか。

季節は秋、メランコリーな気分押しつぶされそうになりながら、最近出会った素晴らしい言葉「自らを由として生きる」を大切にしたいとパソコンに向かい、一気に書き上げました。

いつか何方かに“ワイズの輪”の原稿依頼が届くかもしれません。自らを振り返る貴重な時間を与えてくださった蒲生野クラブ様と、私を指名くださった長岡ワイズに感謝します。

できましたら、びわこ部蒲生野クラブのホームページから、プリテン10月号をお読みくだされば幸いです。

柏原佳子

10月例会のスピーカー

李 重載(イ チュン ゼ)牧師

韓国・全南出身 長老会神学大学院卒 日本宣教
11年、教会開拓9年

現在、西宮弟子教会(在日大韓基督教会) 宣教師(長老教会(総会))

二女一男 (長女は高三、長男は小六)

YMCAニュース

1)ファミリーウエルネスセンター開設1周年
神戸YMCAファミリーウエルネスセンターが脇浜にオープンして1年が経ちました。1周年を記念し、9/4～6の3日間を「ウエルネスデイズ」として特別プログラムを行いました。子どもたちや保護者、たんぼぼクラブ、デイサービス利用者の皆さん、多くの方々と一緒にこれからもファミリーウエルネスセンターの歩みを進めていきます。

2)全国YMCAリーダー研修会
9月19日～22日、名古屋YMCA御岳・日和田高原キャンプ場において全国YMCAリーダー研修会が行われました。神戸からも10名のユースボランティアリーダーが参加し、全国で活動を共にする仲間と一緒に学びを深めました。この研修会で得た学びを、多くの子どもたちへ返していってほしいと期待しています。2016年度は神戸YMCA主管で、余島で研修会を開催します。

3)神戸YMCA幼稚園運動会
9月12日ちとせ幼稚園(神戸市須磨区)、9月19日には西神戸YMCA幼稚園(神戸市西区)で運動会が開催されました。子どもたちは大勢の観客に少しとまどいを見せる場面もありましたが、身体を動かすことの楽しさや喜びを保護者の方々や、地域の方々に見ていただくことができました。

4)今後の予定
秋のバザー
学園都市YMCAわいわいまつり 10月24日(土)
西宮YMCAカーニバル 10月25日(日)
第18回神戸YMCAインターナショナル・チャリティラン
日 時: 11月3日(火・祝)9:00～15:00
場 所: しあわせの村(神戸市北区山田町)
平和を考えるワークショップ
ゲストスピーカーに奥本京子さん(大阪女学院大学国際・英語学部教授)をお招きして、ワークを通して本当の積極的平和とは何かを考えます。
日 時: 11月13日(金)19:00～20:30
場 所: 日本基督教団神戸教会

編集後記:

編集裏話(と言うほどではありませんが)、芦屋クラブでは、原稿を依頼すると殆どの方が締切り前に送ってくれます。ただ、プリテンが前月の活動報告(西日本区や六甲部、YMCAの事業)が中心となる性質上、同じ人の執筆が多くなります。「出来るだけ多くの方に」との提案で、今月はみどり作業所の大澤昌子さんがとても楽しい原稿を送ってくれました。今後はクラブ全員のプリテンになるように、行事報告以外に皆様の日頃思う事、最近の出来事、趣味や旅行記、エッセー等々、掲載したいと思います。写真も歓迎です。どうぞよろしく願います。悩みを1つ、写真を明るく修正するとバイト数が大きくなり、送信しにくくなります。どうすれば良いか何方か教えて下さい。
桑野友子

第2例会議事録(抄)

と き: 2015年9月23日(水)

と ころ: ホテル竹園芦屋ララー 10:30分～20時

出席者: 五十嵐政二、上野恭男、柏原佳子、桑野友子、
篠坂幸彦、羽太英樹、福原吉孝、渡辺倫子、
藤田良祐、(9名)敬称略

議 案

1)例会の検討

11月18日(水) スピーカーは権 甲植ワイズ

12月23日(祭・水) クリスマス例会

カントリーバンド「ヒルビリー・オーサムズ」

1月20日(水) 井上雅司氏知人のマジシャンをあたる。交渉は福原ワイズ

2月17日(水) 次期クラブ役員選考の事務例会

3月16日(水) 中村 建父子ピアノ連弾とお話し?
は上野が交渉する

4月・5月・6月は未定 五十嵐会長が交渉

2)10月11月12月第2例会の会場は竹園ララーとする

3)第1例会の飲み物 ビール700円、ウーロン茶 400円に
値上げ(例会場での清算とする)

4)8月度会計の報告(羽太会計)、了承される
オーナーロール献金の取り扱いについては、過去6年分の
6万円はEFとして国際に送金済みであり、JWFに振替
は不能なので2015年で打ち切ることとする

5)今後の予定

10月21日(水)チャリティ・ゴルフ

花屋敷カントリークラブ 今回は参加者なし

11月3日(祭・火)チャリティラン

しあわせの村 みどり作業所から3チーム出場、送迎の
人数などを詰める。担当は上野

6)行事報告

六甲部メネットアワー報告に関して、利益金を東北支援でなくメネット資金とする理由、講師の交通費を六甲部からでなく収益金から支出する理由など疑問点を五十嵐会長から進藤部長に質すことにする

ジャガイモファンド報告(桑野ファンド委員)

「インカのめざめ」21箱は完了、「十勝のじゃがいも」

93箱は10月16～18日の予定。収入は約7万円

7)来春の韓国旅行について、福原ワイズより目的意識をもち、安かろう、を避けたいと提案あり

8)事情がある会員の年会費を半額にする件を会則に沿って検討。最新の会則を配布することにする